

認証評価を受審して

本学は、保健医療専門職を育成することを目的に、千葉県立衛生短期大学と千葉県医療技術大学校を統合して、健康科学部のみの単科大学として2009年（平成21年）4月に開学した。看護学科、栄養学科、歯科衛生学科、リハビリテーション学科（理学療法学専攻、作業療法学専攻）の4学科2専攻からなり2013年（平成25年）3月に第1期生を初めて社会に送り出した。

創立後初めて受けた今回の大学評価では、多職種連携に資する専門職育成のための特色ある教育や開学当初から続けている地域貢献などこれまでの取組みが評価され、大学基準に適合していると認定された。開学から7年間の教職員の教育、研究、社会貢献等への貢献が評価されたことは喜ばしいことである。

一方、ACでも指摘されているように施設・設備が未整備で、キャンパス統合や大学院設置等本学の中長期計画が頓挫したままであり、教育・研究に十分な環境は整備されていない。県との協力・連携体制を強化し、種々の問題解決に向けて共に取組んでいくべきであると強く指示された。ソフト面でも内部質保証システムが十分に整備されておらず、管理運営の意思決定プロセスも不明確な状況等様々な問題点が指摘された。

これらの課題の多くは自己点検・評価の段階で明確になっており、課題解決に向けて教職員一丸となって早急に取り組まなければならない。これらの課題解決に向けて平成28年度改革重点施策を策定している。大学評価でも指摘されているように県との協力・連携体制が不可欠であり、今回の認証評価結果を踏まえて改革案を丁寧に説明し、了解を得ながら愚直にその歩みを進めていきたい。

今回の認証評価にあたりご尽力、ご協力いただいた関係の皆様には感謝すると共に大学基準協会による認証評価結果を公表し、その説明責任を果たしていきたい。

平成28年3月12日
千葉県立保健医療大学
学長 田邊政裕